

オプトアウト

臨床研究「救急外来におけるせん妄と患者転帰に関する研究」について

日立総合病院・救命救急センターでは、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

救急外来に搬送された患者さんの中で「せん妄」とよばれる一過性に混乱した状態になる患者さんがいます。せん妄を起こすと、必要な医療機器を誤って外してしまったり、転んでしまったりなどの安全管理上の問題が起こりうる場合があります。また、せん妄は、患者さんにとって苦痛であるとともに、長期的にみても認知機能が低下することがあります。救急外来においても、せん妄になる患者さんを早く見つけ出し、予防していくことが重要になります。意識と注意の簡単なスクリーニングの導入は、せん妄の予防に有益であるだけでなく、結果的に転倒予防にも繋がることとなります。また、関連する罹患率、死亡率、入院中のコストを減少させる可能性があるとして報告されています。

そこで、我々は救急外来に救急搬送された患者さんにおいて、せん妄の発症が、入院後の患者さんの急変を含む有害事象発生(なんらかの急変、転倒・転落、点滴・カテーテル類の自己抜去など)に影響があるのかを検証し、救急外来におけるせん妄看護の在り方について明らかにすることを目的としています。

これらを明らかにすることにより、救急外来からせん妄の患者さんを早く見つけ出すことでできるだけ早く、救急外来からせん妄治療や看護を開始することができ、入院後のせん妄発症予防や有害事象発生率の低下に寄与できる可能性があります。

② 研究対象者

当院の救急外来に搬送された患者さん

③ 研究期間

倫理委員会承認後～2024年12月

④ 研究の方法

2023年4月～2024年3月までの1年間に、当院救急外来に搬送された患者さんのカルテから、年齢、疾患などの基礎的情報からのせん妄に関連するデータを収集させていただきます。患者さんに追加でご協力いただくことはありません。

⑤ 試料・情報の項目

年齢、性別、診断名、既往歴、病院入院日、救急外来におけるせん妄の有無、入院前認知機能、入院後の転倒転落・自己抜去の有無、病院在院日数、死亡の有無など

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

救命救急センタ 看護師 宇野翔吾

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

日立総合病院: 〒317-0077 茨城県日立市城南町2丁目1-1

所属・担当者名: 救命救急センタ 救急外来 看護師 宇野翔吾

電話: 0294-23-1111

メール: shogo.uno.sh@hitachi.com

対応可能時間: 平日 9～16時